





国会議事堂中央ホールで



政策が動く場所を肌で感じて

11月21日(金)から23日(日)  
までの3日間、東京で新採労働  
学校が開かれました。当日、私  
は熊本空港から羽田空港へ向  
かつたのですが、飛行機が30分  
も遅延し、幸先の悪いスタートと  
なりました。羽田空港で九州の  
仲間と合流し、その後、参議院  
会館で全国の仲間と合流。九州  
からは約20名が参加していて、  
ましたが、この人数はどの地本  
よりも多い参加人数でした。

仲間と合流し、その後、参議院  
会館で全国の仲間と合流。九州  
からは約20名が参加していて、  
ましたが、この人数はどの地本  
よりも多い参加人数でした。



九州団結の誓い

## 職場段階の課題を解決するため 意思統一

～長崎、沖縄分会定期大会～



新執行体制で分会を支える：長崎分会

経過と総括、2025年度運動方針(案)が執行部より提案され、質疑・討論を踏まえ、全ての提案が承認となり、向こう1年間の方針が意思統一されました。また、役員改選では執行体制が一新し、谷口正美新分会執行委員長の団結ガンバローで大会を終了しました。

(長崎分会・今井通信員)  
10月2日、長崎森林管理署会議室において、第21回分会定期大会を開催しました。

冒頭、森浩分会執行委員長から「自分たちの働きが国の中組みの一部を支えている」という実感がわき、身の引き締まる思いがしました。建物に刻まれた年輪のような歴史が、これから自分が積み重ねていく経験とどこか重なり、自然と背筋が伸びる瞬間でした。